

合格への確かなロードマップ

リニューアル 早稲田合格答練

カリキュラムに沿って学習することで
「その時期に必要な学習」を実現！

渋谷校解説講義に、ついに木村一典講師が登場!! ライブだからその臨場感、緊張感で、答練実施日に復習できます!
また、解説講義申込者は中上級対策のエキスパート姫野寛之講師の講義をWebフォローで受講することもできますので、
万全の態勢で司法書士試験を迎えることができます。

姫野のワンポイントアドバイス

～答練の効果的な使い方～

答練は、「予習」、「答練中」及び「復習」の3つのステージに分けて活用しましょう。「予習」は、答練をベースメーカーし、次の答練で出題される範囲のインプット作業を行います。皆さんは、約1年の「予習」をして本試験に臨むわけですが、その最小単位として、約1週間の「予習」をして「答練」に臨みましょう。

別途申込でさらに答練の効果が期待できます!

2017年8月

過去問から出題者の
“意図”を読み解く!

択一実戦過去問
～キムラの目～
全30回(各回90分)

レベルアップ式演習で
記述力を底上げする!

記述式
Skill Up講座
全15回(各回180分)

2017年11月

リニューアル!

総合力底上げ答練 (旧:ホップ答練) 全6回

出題数: 択一式 全210問 (各回35問)
記述式 全12問 (各回2問)

択一式35問(昨年までは20問)の総合答練にリニューアル!
記述式も毎回出題するため、直前期の実力をキープするとともに、知識の上乗せをし、実力を底上げすることができます!

姫野のワンポイントアドバイス

苦手科目が少なく、また、過去問の知識も十分であることに加え、一定の未出の知識を習得している合格者の多くは、このような「バランス」の良さがあり、この「バランス」は、確実な合格点を得る上で欠かせない要素となっています。「総合力底上げ答練」では、基礎的な論点を題材とする問題が出題されます。まずは、この「総合力底上げ答練」で苦手な分野を克服し、合格に必要な「バランス」を整えることにより、次のステージ「科目別全潰し答練」に進みましょう。

2018年1月

科目別全潰し答練

出題数: 択一式 全420問
記述式 全24問

年明けからスタートしたい方に最適。
全科目を科目別・体系別に出現。
全12回の答練を受講し復習すれば、試験範囲を一通り回せるので、学習のペースメーカーとしても最適です。
科目毎にじっくり勉強できるのはこの時期だけ!

木村の流儀

年明けから、科目別全潰し答練を受けるメリットは何か? それは弱点を見つけやすくなることです。では、その見つけた弱点をどう克服するか? その克服方法こそ、解説講義で私が伝えたい内容なのです。初学者向け講座と受験経験者向け講座の両方を担当していると、それぞれのレベルに応じた弱点克服法があることに気づきます。私の解説講義では、正答率を使うため、それぞれ、自分が間違えた問題の重要度が即座にわかるようになっており、弱点克服のための復習に威力を発揮します。

ライブ解説の臨場感・緊張感



受講生から何度もリクエストをいただいた木村一典講師の解説講義が、ついに渋谷校ライブプラスと梅田校ライブ中継クラスで開講!! 正答率を利用した解説やその場で考えるスタイルの解説講義はライブ解説ならではのメリットです!



「解説講義」担当講師
木村 一典 講師

圧倒的な分析と詳細補助レジュメによる解説



圧倒的な分析と詳細補助レジュメに基づく講義は、出題された範囲の論点を解説するだけでなく、出題範囲周辺の未出知識や解法まで解説しており受講生に絶賛されている。



「解説講義」担当講師
姫野 寛之 講師

姫野のワンポイントアドバイス

模試は、本試験を想定し、解法を実践し、また、時間配分の訓練等をするためにあります。つまり、模試といえども、答練と同様、あくまで段階の勉強の成果を確認するものです。ご自身の課題を設定し、その達成度を確認しましょう。私が担当する全国公開模試解説講座では、択一式問題・記述式問題の解法の提示や出題可能性の高い論点の指摘や解説等を行いますので、ご自身で復習をされる「前」に、ぜひ受講ください。

2018年4月

全国実力Check模試 全1回

合格力完成答練 (旧:ジャンプ答練) 全6回

出題数:
択一式 全210問 (各回35問)
記述式 全12問 (各回2問)

現在の実力がどの程度か、弱点を知り、直前期の勉強の指針となる答練です!

木村の流儀

ガイドス P.53

合格力完成答練の狙いは、「実戦力アップ」です。ただし、単に問題を解いて解説冊子を読むだけでは、実戦力はアップしません。むしろ、扱い方を間違えれば問題に振り回されるだけのものです。そこで、問題に振り回されないためには、的確な必要があります。それも独りよがりなやり方ではなく、本試験を意識したものでなくてはなりません。私の解説講義では、科目別全潰し答練のときと同じく、正答率を使うため、独りよがりのやり込みにはなりません。どれほど答練が合格に必要なものかはガイドスにてご確認ください。

姫野のワンポイントアドバイス

可能な限り、1年に一度しかない本試験のシミュレーションをしている合格者の多くは、答練では「本試験」をイメージし、本試験では「答練」をイメージします。「合格力完成答練」では、その名のとおり、「合格力」を「完成」させるため、総合的かつ実戦的な問題が出題されます。問題のレベルは最も本試験に近いですから、効果的なシミュレーションが可能となります。

2017年					2018年	
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月

出題範囲表	回数	2017年		2018年	
		択一式(35問/回)	記述式(2問/回)	択一式(35問/回)	記述式(2問/回)
総合力底上げ答練	1	午前の部	不動産登記法(所有権中心)/商業登記法(限に株券を発行している株式会社)	1	民法/総論・物権
	2	午後の部	不動産登記法(抵当権中心)/商業登記法(公開会社である種類株式発行会社)	2	民法/物権・担保物権
	3	午前の部	不動産登記法(根抵当権中心)/商業登記法(公開会社でなく取締役会設置会社以外の株式会社)	3	民法/担保物権・債権・親族
	4	午後の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)	4	民法/親族・相続 ●不動産登記法
	5	午前の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)	5	●不動産登記法
	6	午後の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)	6	●不動産登記法
科目別全潰し答練	7			7	●会社法
	8			8	●民法/会社法 ●商業登記法
	9			9	●商業登記法
	10			10	●民事訴訟法・民事執行法・民事保全法
	11			11	●民事訴訟法・民事執行法・民事保全法 ●司法書士法・供託法
	12			12	●憲法 ●刑法

2018年		2018年		2018年	
3月	4月	5月	6月	7月	8月

出題範囲表	回数	2018年		2018年	
		記述式(2問/回)	択一式(35問/回)	記述式(2問/回)	択一式(35問/回)
合格力完成答練	1	不動産登記法(所有権中心)/商業登記法(公開会社)	1	午前の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
	2	不動産登記法(所有権中心)/商業登記法(公開会社)	2	午後の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
	3	不動産登記法(抵当権中心)/商業登記法(公開会社でない取締役会設置会社)	3	午前の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
	4	不動産登記法(抵当権中心)/商業登記法(公開会社でない取締役会設置会社)	4	午後の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
	5	不動産登記法(根抵当権中心)/商業登記法(取締役会設置会社以外の株式会社)	5	午前の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
	6	不動産登記法(根抵当権中心)/商業登記法(取締役会設置会社以外の株式会社)	6	午後の部	不動産登記法(総合)/商業登記法(総合)
全国公開模試	第1回	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	1	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	
	第2回	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	2	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	
	第3回	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	3	総合/午前の部(択一式35問)・午後の部(択一式35問・記述式2問)	